

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 多世代交流の場の更なる創出を (30分)</p> <p>鶴ヶ島市の高齢化率は平成27年1月現在で、23.65%となっており、昭和40年代から50年代の開発ラッシュ等により人口が一時的に大幅に伸びたことを鑑みると、今後、高齢化率は急激に進展するものと予測されます。</p> <p>その様な状況の中、高齢者と若者が積極的に交流する事は、若者が我が国の数十年後の社会の在り方、地域の在り方を考えるよいきっかけづくりになると思われます。</p> <p>また、高齢者と若い世代との連帯を深め、希薄化している地域の絆を全ての世代で再生するという観点からも、多世代交流は望ましいと思われ、以下質問をいたします。</p> <p>(1) 自治会や支え合い協議会を市では多世代交流の場(コミュニティ)として、どのようにとらえておりますか。</p> <p>(2) 多世代交流の場の拡大・創出のために当市ではどういった取り組みを行っておりますか。</p> <p>(3) 多世代交流の場の拡大・創出における行政の役割をお示しください。</p> <p>(4) 支え合い協議会など多世代交流の場は広がっているように思われますが、今後の全体的な計画はどうなっておりますか。</p>	<p>市長 教育委員会委員長</p>
<p>2 市の防犯体制について (20分)</p> <p>平成26年第4回定例会で、「安全・安心な鶴ヶ島の形成を」と題し、主な質問内容として被害者を子供、女性、高齢者に分け、それぞれ防犯対策を伺いました。今回はその続きとなります。</p> <p>(1) 子供を被害者とする犯罪について</p> <p>ア 犯罪や事案が発生した場合、学校ではどのような対応をしておりますか。</p> <p>イ インターネット利用によるトラブルに巻き込まれないために、どの様な教育を行っておりますか。</p> <p>(2) 高齢者を被害者とする犯罪について</p> <p>ア 振り込め詐欺の現状はどうなっておりますか。</p> <p>イ 振り込め詐欺防止のための啓発活動はどうなっておりますか。</p> <p>(3) 地域における防犯体制確立のための取り組みはどうなっておりますか。</p>	<p>市長 教育委員会委員長</p>